



『地域に誇れるコミュニティ・スクール』
～社会に貢献できる人材の育成～

校長 井浦 博史

令和6年度がスタートしました。太平中学校で迎える3年目の春となります。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

本校は上尾市の西側、住宅と田畑が混在する落ち着いた環境にあります。学区の西には荒川が流れており、平方河岸として古くから栄えた地域です。文書資料からは、寛永15（1638）年にはすでに存在していたと考えられているそうです。また、江戸時代には陸運と荒川の舟運によって発達し、その発展は大正時代末まで続いたとのこと。本校の正門の両脇とテニスコートの北側には、とても立派で素敵な桜の木があります。3月から4月にかけての桜の季節には地域の方にも喜んでいただいております。地域の風物詩の一つにもなっていると自負しております。立派に成長し、美しい花を咲かせる桜をみておりますと、伝統と歴史のある地域に根ざした学校であることを改めて実感します。

本年度も教職員一同、本校生徒の健やかな成長のため、一丸となり全力で取り組んでまいります。保護者、地域の皆様方には変わらぬご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年度78周年を迎える本校ですが、これまで築き上げてきた学校文化をさらに深め、広めていくため、令和6年度は個別最適な学び、協働的な学びを中心とした教育活動に努めてまいります。

本校の学校教育目標「社会に貢献できる人材の育成」とは、先行き不透明な「予測困難な時代」（VUCAの時代（「Volatility（変動）」「Uncertainty（不確実）」「Complexity（複雑）」「Ambiguity（曖昧）」の頭文字をとった造語）を、自分のよさや可能性を自覚し、あらゆる他者を自分と同じように大切な存在として尊重し、多様な人々と共に手を携えながら、優しく豊かな社会の創り手となること、一人一人の生徒が、自分の将来に夢や希望を持ち、学ぶ楽しさを実感でき、コミュニケーションを構築できる生徒になってほしいという願いが込められております。友人とともに生きる喜び、夢に向かって進もうとする意欲に満ちた学校生活を送ることができ、優しさが溢れる学校づくりを全力で進めてまいります。

令和6年度の太平中学校は、97名の新入生を迎え、通常学級9学級、特別支援学級2学級の計11学級、全校生徒293名でスタートします。教職員が心を一つにして、学校教育目標の実現に向け、教育活動を推進してまいります。

教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実がなる、と言います。これからの社会を担う子供たち一人一人が自分らしい素敵な花を咲かせることができるよう、家庭と地域社会、学校がより一層協働して地域総出の教育を進めてまいりたいと考えております。

保護者、地域社会の皆様、本校に関わってくださるすべての皆様におかれましては、今後とも太平中学校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。令和6年度当初のごあいさつとさせていただきます。